

# 産経新聞

政治家は道徳家ではない。それにして、最近の日本政治を見てみると、徳目とまでいかなくても社会常識を欠いた人物が多すぎるのではないか。もっとも、歴史的なリーダー論でも、

## 歴史の交差点

武蔵野大特任教授 山内昌之



現代にそのまま通用しようにもない指摘もある。例えば、トルコ人の一賢人が、指揮官には動物の性質のうち10種類が必要だと述べた資質はどうか。①獅子の勇猛さ、②猪の突進

性、③狐の敏捷さ、④負傷した犬の忍耐強さ、⑤狼の略奪性、⑥鶴の用心深さ、⑦雄鶏の寛容さ、⑧雛への牝鶏の情愛、⑨鴉の警戒心、⑩タアルンの肥満ぶり。タアルンとはイラン北東部

は、初代の家康を別格とすれば吉宗くらいであろうか。

よく知る儒学者、室鳩巢はこの見せた(『享保通鑑』三)。清朝の統制に服さず日本近海に出没して抜荷や海賊まがいの行為を働く「唐船」を、「鉄砲にて討ちかけ苦しからず候」と実行使を命じた。これは、①と②の資質の発露であろう。他方この問題で、かつて日清をまた

近に出た折の、①や②を思わせる鮮やかな統率力に言及した史料もある。馬上の采配で数千の人数を下知する一方、「又ある時は単騎にて諸番の隊に乗込給ひ、御みづから番士を指揮し給ひ、しかしかの旨を番頭に申す

8代將軍吉宗は軍事演習としての狩に出たとき、「部隊」を指揮する技量と部下の統率力において群を抜いていた。享保2(1717)年の初狩で向島付

また、享保6年の鹿狩では、猛進してきた野猪の額の真中をひとと一打で倒したのは有名な話。まさに、②をもつて②を制したともいえよう(『有徳院殿御実紀附録』巻十二、十三)。

「見かけを飾りすぎる」と厳しく評し、人材を活用しなかつたことを惜しんでいる(『兼山秘策』六、享保八年正月廿五日青地札幹書)。

晋一「江戸幕府と国防」。略奪性や肥満は、昔も今も政治家には必要のない条件ではないだろうか。(やまうち まさゆき)

## 指導者に必要な10条件

吉宗は新井白石の雅やかな儀礼や政策を否定しても、正徳新例(国際貿易額を制限する法令)のように、日本からの無制限の金銀貨流出を妨げる白石の意図を国益にかなうと見るや、ためらわずに採用した。両者を

しかし、吉宗は白石の正徳新例から排除された結果、近海で不法行為を働く「唐船」の打ち払いを視野に入れた家継(7代將軍)政権、つまり白石の方針をそのまま継承する懐の深さを

晋一「江戸幕府と国防」。略奪性や肥満は、昔も今も政治家には必要のない条件ではないだろうか。(やまうち まさゆき)

晋一「江戸幕府と国防」。略奪性や肥満は、昔も今も政治家には必要のない条件ではないだろうか。(やまうち まさゆき)